JAXA航空技術の社会への貢献

JAXAは、公的研究機関として航空科学技術の水準の向上を通じて、我が国の航空産業の発展、社会基盤としての航空交通の普及と環境・安全向上に貢献しています。

1960 1970 1980 1990 2000 2010

JAXA研究開発

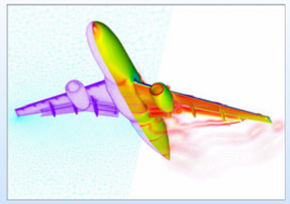
航空科学技術水準の向上
機体設計技術（低抵抗・低騒音化）／エンジン要素技術（低燃費化）／運航・安全技術（安全性評価）／材料技術（複合材高性能化）

大型ターボファンエンジン開発技術の獲得

FJR710ジェットエンジン

複合材を尾翼に使用

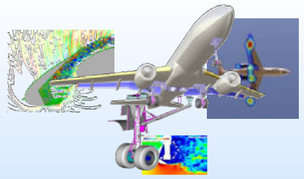
低騒音STOL実験機「飛鳥」



空力計算技術

低コスト複合材技術

環境技術・安全技術の重点化と新分野の創造



機体騒音低減技術

低燃費航空機技術

乱気流検知技術

静粛超音速研究機技術

社会（民間）

国産航空機YS-11

国際共同エンジン V2500
- 190以上の航空会社から6400台を超える受注を獲得したベストセラーエンジン
- 日本は、世界の航空エンジン業界において、米・英・仏・独に続く世界第5位のシェアを獲得

ボーイング787型機
- ボディや主翼には炭素繊維複合材を使用
- 日本メーカーが、最新鋭機B787の主翼を含む1/3以上を担当

F-2戦闘機
複合材主翼適用

国産小型旅客機の事業化

提供：三菱航空機（株）

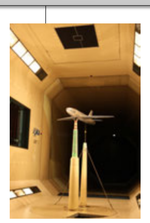
将来の社会貢献
- 航空産業の活性化
- CO2排出の大幅削減
- 乱気流事故の根絶
- 騒音被害の大幅低減
- 災害救援能力の向上

など

JAXA設備

民間や大学等では保有困難な大型・高性能の風洞施設等の試験設備を整備・供用

2mx2m遷音速風洞



6.5m×5.5m低速風洞

地上エンジン運転設備

複合材試験設備

実験用航空機「飛翔」

スーパーコンピュータ